



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年11月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日 時	テーマ	講 師	単 位	定 員
11月2日(月) 14:00~16:00 申込受付日時 10月5日(月) 10時~17時	<b>労災補償「制度と現状」</b> 労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。	野村 みどり	生涯・更新2	24
11月5日(木) 14:00~16:00 申込受付日時 10月8日(木) 10時~17時	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b> 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。 まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	24
11月6日(金) 14:00~16:00 申込受付日時 10月9日(金) 10時~17時	<b>化学物質関係特殊健康診断項目の改正について</b> 有機溶剤・鉛・特定化学物質健康診断の項目が改正されたので、各物質の概要と改正項目について解説する。	石井 義脩	生涯・更新2	24
11月9日(月) 14:00~16:00 申込受付日時 10月12日(月) 10時~17時	<b>職場のメンタルヘルスにおける依存症</b> 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	24
11月10日(火) 14:00~16:00 申込受付日時 10月6日(火) 10時~17時	<b>働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～</b> ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24

<p>11月13日(金) 13:30～16:30</p> <p>申込受付日時 10月16日(金) 10時～17時</p>	<p><b>作業環境測定方法</b></p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>市川 英一 岩崎 毅</p>	<p>生涯・ 実地3</p>	<p>16</p>
<p>11月16日(月) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 10月19日(月) 10時～17時</p>	<p><b>事例検討に学ぶ職場のメンタルヘルス</b></p> <p>職場においてメンタルな問題が疑われる事例が発生した際、職場関係者はその評価と対応に迷うことが少なくない。 また、多面的な問題を内包している場合には、人事労務担当者を含め、多職種の関係者の連携が不可欠となる。 本研修では、実際の事例について、適切なアクセス、プランニング、評価などを学んでいく。</p>	<p>大西 守</p>	<p>生涯・ 実地2</p>	<p>24</p>
<p>11月24日(火) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 10月13日(火) 10時～17時</p>	<p><b>職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～</b></p> <p>産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。</p>	<p>濱田 篤郎</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**10月20日(火)10時～**です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月11日(水) 14:00～16:00	<p><b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</b></p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒・墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	単位なし	12
11月12日(木) 14:00～16:00	<p><b>産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&amp;ツール③</b></p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「健康経営優良法人認定制度」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「ハラスメント対策関連法」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	12
11月18日(水) 14:00～15:30	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	10
11月19日(木) 14:00～16:00	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。まだ、議論の途中文なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	12
11月25日(水) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度を実施しての今後のゆくえ</b></p> <p>毎年ストレスチェック制度を実施して、その効果や活用はいかがでしょうか。今後の方向性、「ストレスの気づき」と「職場環境の改善」の両輪を活かすために実際にどう対応されていますでしょうか。少しでも職場環境の改善が見られたこと、どんな成果をもたらしているか、先行事例をみながら、方向性を考えてみましょう。ストレスチェックの結果をより意味のあるものにするために何が必要なことか、実践しながら考えてみませんか。ご参加お待ちしております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	12

<p>11月27日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>高山 俊政</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>
<p>11月30日(月) 14:00～16:00</p>	<p><b>発達障害と思われる事例への対応を考える</b> 最近、発達障害と思われる職場不適應事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>森崎 美奈子</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**10月20日(火)10時～**です。

日時	テーマ	講師	定員
11月11日(水) 14:00～16:00	<p><b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</b></p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	12
11月12日(木) 14:00～16:00	<p><b>産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&amp;ツール③</b></p> <p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。「健康経営優良法人認定制度」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「ハラスメント対策関連法」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	12
11月18日(水) 14:00～15:30	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	14
11月19日(木) 14:00～16:00	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	12
11月25日(水) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度を実施しての今後のゆくえ</b></p> <p>毎年ストレスチェック制度を実施して、その効果や活用はいかがでしょうか。今後の方向性、「ストレスの気づき」と「職場環境の改善」の両輪を活かすために実際にどう対応されていますでしょうか。少しでも職場環境の改善が見られたこと、どんな成果をもたらしているか、先行事例をみながら、方向性を考えてみましょう。ストレスチェックの結果をより意味のあるものにするために何が必要なことか、実践しながら考えてみませんか。ご参加お待ちしております。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	12

<p>11月27日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>高山 俊政</p>	<p>12</p>
<p>11月30日(月) 14:00～16:00</p>	<p><b>発達障害と思われる事例への対応を考える</b> 最近、発達障害と思われる職場不適應事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>森崎 美奈子</p>	<p>12</p>